

(様式3)

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成22年11月9日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0871000287		
法人名	有限会社 さわやか荘		
事業所名	グループホーム さわやか荘	ユニット名	1
所在地	〒304-0075 茨城県下妻市南原132-1		
自己評価作成日	平成22年5月20日	評価結果 市町村受理日	平成22年11月4日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報	茨城県福祉サービス振興会のホームページ「介護サービス情報検索」から情報が得られます。
------	--------------------------------------------

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成22年7月14日	評価確定日	平成22年10月28日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

アットホームな環境の中、穏やかに生活が送れるよう心がけて支援しています

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

開設以来利用者とは一つの家族のように暮らしている。 日々利用者の笑顔が絶えないように、家庭的な環境のもとで安心と尊厳のある生活を続けられるよう、職員はサービスを工夫し支援している。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎日朝礼時（仕事始める際）に理念を復唱し、仕事に入っています	地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所の理念を全職員が理解して日々の支援にあたっている。 理念は事務室に掲示するとともに、職員は毎日の朝礼時に唱和し共有を図り実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	今年は新型インフルエンザの影響から、自粛させていただきました	冬は感染症予防のために利用者は地域交流を控え、春からは地域の花見などに出かけている。 利用者は職員と一緒に保育園の運動会や交流会に参加し交流を図っている。 運営推進会議等に自治会長の参加を得るとともに、管理者は自治会行事に協力している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	災害時の避難について協力していただくよう話し合いをもったりしました		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	災害時の避難場所への誘導などを話し合い、すぐに避難場所マップを作成しました	運営推進会議は家族等や市職員、自治会長で2ヶ月に1回開催している。 会議では事業所からの報告や市からの連絡、家族等からの意見を聴くとともに、出た意見等をサービスの質の向上に活かしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	何かあるごとに市に連絡するようにしています	管理者は介護認定審査会委員を務めており、日頃から市担当者と連携を図っている。 福祉事務所に生活保護受給利用者に関する月1回の報告のほか、事務所担当者の訪問もあり、協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	高齢者虐待防止、権利擁護も含め、職員会議時話し合いを行い確認しあっています	身体拘束防止のポスターを事業所内に掲示するとともに、身体拘束防止についてインターネットで調べ資料を取り、職員会議等で身体拘束をしないケアについて検討確認し、玄関の施錠を含め身体拘束をしないケアを実践している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体拘束、権利擁護も含め、職員会議時話し合いを行い確認し合っています		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	身体拘束、高齢者虐待も含め、職員会議時話し合いを行い確認し合っています		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	面会の際に、必ずご家族に聞くようにしています		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	希望等があった時は朝礼や職員会議時に話し合い、ご家族に話すようにしています	面会時に家族等から話を聴いたり、運営推進会議で要望を汲みあげている。 月1回の事業所だよりや介護計画書と一緒に要望書を送付し、家族等の意見や要望を把握している。 重要事項説明書に事業所や第三者機関の苦情相談受付窓口を明記している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回の職員会議時（管理者も出席）に話しあうようにしています	管理者と職員は話し易い関係を築くとともに、毎日の朝礼時や月1回の職員会議で意見等を話し合い、運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	月1回の職員会議時（代表者も出席）に話しあったり、食事に行き話を聞いたりし、働きやすい環境になるよう努めています		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	各自に合った研修があると都度話を持って行き、参加できるようバックアップしています		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	不定期ではありますが、情報交換をしたり、いろいろな施設訪問をさせていただいたりしています（職員に民生員もいるので、民生員の施設研修に参加した時の事も生かしています）		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	出来る限り以前と同じような暮らしができるような環境作りに努めています		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	出来る限り時間をかけ、お話を聞くようにしています また、他に何かあった時はすぐ電話してお話下さいとも声をかけています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービス担当者会議を開き、いろいろな方向からのアプローチ方法も考え話し合い、対応しています		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一緒にご飯を作る際、教えていただく機会を作ったりしています		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	電話を通して話していただいたりする機会をなるべく多くしています また、月1回以上の面会を呼び掛けています		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	以前暮らしていた際に買い物や散歩に行ったところに行ったりしています	利用者は入居前から行っていた桜がきれいな場所に職員と一緒にお花見に出かけている。 希望により電話の取り次ぎをして馴染みの関係が継続するように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	各自が得意な事を他の方が教えてもらったりする場面を作りコミュニケーションをとっています		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	利用者の現在の施設の方に連絡したり、ご家族に電話したりしています		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	なるべく出来る範囲で支援ができるよう心がけています	職員は毎日の暮らしの中で利用者の言葉だけでなく、表情からも思いを汲み取るよう努めているほか、人目が気になる場合は居室で話を聴くよう配慮している。 不穏時には気分転換に買物に誘ったり、買物好きな利用者には折込チラシから何を買うか一緒に選ぶなど、利用者本位に支援している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	なるべく出来る範囲で支援ができるよう心がけています			
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	バイタルチェックをはじめ、その日、その方にあった支援をするようにしています			
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	要望書を郵送し、忙しいご家族の意見も反映できるようにし、サービス担当者会議を行い、ケアプランを作成し、前回のモニタリングも行っています	利用者や家族等の要望や主治医の意見等を取り入れて介護計画を作成している。 面会の少ない家族等には介護計画を郵送し、介護内容への要望を書いてもらい介護計画に反映させている。 利用者の心身の状態に変化が生じた場合には、現状に即した介護計画に見直している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日日勤・夜勤での記録を書きしており、月に1回は職員会議を開き、話し合うようにしています		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	臨機応変に対応できるよう朝礼時やサービス担当者会議時に話し合い、支援に努めています		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ペッポトルのキャップを全員で集めています		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	緊急時の対応は入院設備のあるところでないのが難しいですが、定期受診は希望の病院に通院介助を行っています	利用者が希望するかかりつけ医への受診を家族等、または職員が付き添い支援している。 協力医療機関をかかりつけ医とする利用者には月1回の受診を支援し、適切な医療が受けられるように取り組んでいる。 利用者が歩けないなどの場合は協力歯科医の往診を受診できる。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	張礼時や職員会議時など話し合いをもっています		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>すぐに情報提供書を渡し、利用者が混乱しないように心掛けています</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>今医療の勉強会を少しづつ行っており、今年度中に方針を出す予定でいます</p>	<p>事業所は看取りの経験はなく、重度化や終末期に向けて利用者や家族等、管理者、職員で方針を共有するまでには至っていない。 管理者は終末期の対応ができるよう職員に働きかけ勉強会を実施している。</p>	<p>重度化や終末期に向けた事業所の対応方針や同意書、マニュアルなど関係書類を作成するとともに、利用者や家族等、主治医、職員など関係者で話し合い方針を共有して支援に取り組むことを期待する。</p>
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>救命救急講習を受けたり、勉強会を行ったりしています</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>避難訓練を行い、地域の方の協力もとりつけています</p>	<p>消防署指導のもと避難訓練や夜間想定避難訓練を実施するとともに、災害時に備え飲料水や乾パン等を備蓄している。 夜勤者は1名だが管理者の自宅が隣にあり、すぐに対応することができる体制となっている。</p>	<p>自治会長を通して近隣住民に避難訓練への参加を働きかけ協力体制を築くよう取り組むことを期待する。</p>

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	なまった言葉が安心する方には言葉をくずしたり、その方にあった言葉使いをしています	職員は利用者一人ひとりに合わせた呼びかけや言葉遣いをするように配慮しているほか、利用者の会話から思いを知り、人格を尊重した対応を心がけている。 個人情報関係書類は事務所に保管しているほか、排泄チェック表などはプライバシーに配慮して人目に付かないように管理している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご自身のお誕生日のお祝いは何がいいか考えていただいたり、時には外食のメニューも考えていただきます		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日の健康状態も合わせてその日の過ごし方を利用者と話し合ったりします		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	洋服を一緒に買いに行ったり、その日のコーディネートと一緒にしたりします		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ご自身のお誕生日のお祝いは何がいかが考えていただいたり、時には食事のメニューも考えていただき、一緒に用意したりしています	利用者と職員は一緒に食事をした り、利用者はできる範囲で食事の後片付けや食器拭きなどを行っている。 職員は行事食や誕生日にはケーキを用意するなど食事が楽しみなものとなるよう支援している。 体調不良の利用者は居室で食事ができるよう職員が食事介助を行っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分チェック表をつけ、食べ残しがある時は量を記録に残しています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎日食後には口をゆすいでいただくことや入れ歯の洗浄を行い、寝る前は入れ歯を預かり洗浄剤につけています		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表をつけ、その日に合った時間誘導や声かけ・介助をおこなっています	殆どの利用者は紙おむつは使用せず尿意や便意を感じているので、職員は排泄チェック表から排泄パターンを把握し、さりげない声かけやトイレ誘導をして排泄の自立を支援している。 希望があれば居室にポータブルトイレを置き、トイレでの排泄を支援している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	繊維質なものや水分、運動をしていただいたりし、便秘が4日以上続かないよう気をつけています		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	その日の体調も考え、一緒に話し合い入浴時間を決めて支援しています	職員は毎日3回利用者のバイタルサインをチェックし体調に合わせて入浴支援をしている。 最低週2回の入浴を支援しているが、希望があればいつでも入浴できるよう支援している。 入浴日を気にする利用者には入浴カレンダーを作り、次の入浴日が分かるように工夫している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中は日光浴をしたり、運動・散歩を行い、夜はぐっすり眠れるよう支援しています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	与薬チェック表をつけている また、分からない薬やはじめての薬の時は出入りの薬剤師に詳しくきくようにしています		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	馴染みの物を使用・購入や馴染みの人に会っていただいたり支援しています		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	なるべく出来る範囲で支援ができるよう心がけています。できない時はご家族にも協力をお願いし、一緒に出かけていただいたりもしています	利用者は天気の良い日には事業所の周りを散歩したり、縁台で日向ぼっこや夕涼みをして戸外へ出ている。 利用者は職員と一緒に梅や桜、ポピー、紫陽花など季節の花見に出かけている。 利用者は家族等の協力を得て、希望の場所に出かけたり外食を楽しんでいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	わかる方には実際お財布を渡し、職員の見守りの中、購入・支払っていただいたりします		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	夜中とかでない限りは応じるようにしています		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	昔ながらの馴染みの物を使用いただいたり、季節の花などを飾ったりしています	食堂兼リビングは玄関の出入りが一目で分かる構造となっている。 窓が広いので明るく、エアコンや安全に配慮した扇風機を使用し温度を調整している。 廊下には、外出先での記念写真や利用者と職員と一緒に制作した造花などを飾り、季節感を出している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	廊下にはベンチやソファが置いてあり、いつでも座って話せるスペースがあります		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使っていたタンスや布団を持ってきていただき、落ち着いて生活していただけよう支援しています	居室は利用者が使い慣れた整理タンスや鏡台を持ち込み、心地よく暮らせるような工夫をしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	見守りを重視し、出来ない所や状態に応じて支援することを心掛けています		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	1, ほぼ全ての利用者の ○ 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	1, 毎日ある ○ 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	1, ほぼ全ての家族と ○ 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまに <input type="radio"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/> 1, 大いに増えている <input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている <input type="radio"/> 3, あまり増えていない <input type="radio"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない

(様式4)

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム さわか荘

作成日 平成22年11月3日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	33	重度化や終末期に向けた方針	書面にする	完成しつつあり、書面にする	1か月
2	35	災害対策	呼びかけと実行	春に地域の方と行う予定です	半年
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。